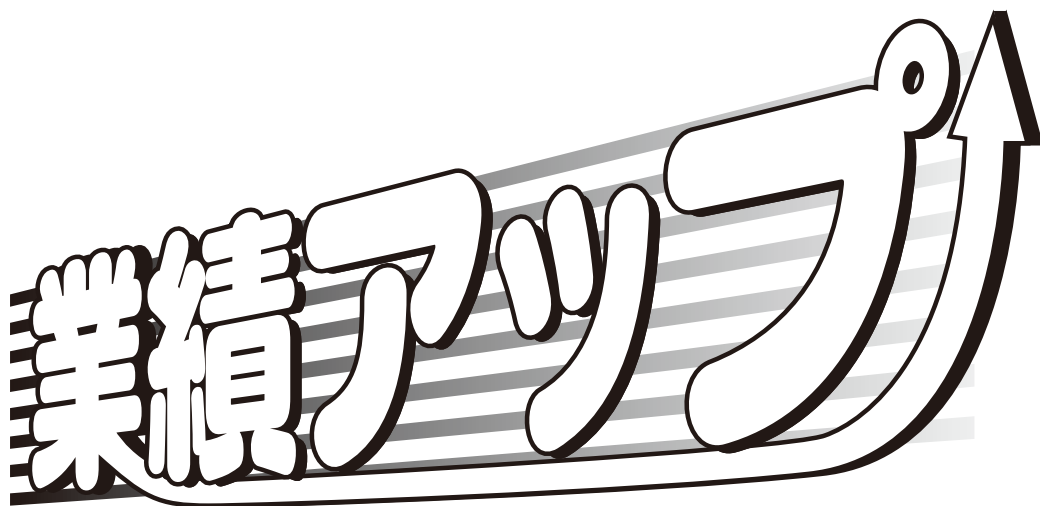


第 1 9 0 回
網走信用金庫 管内企業業況調査
(2025年 3 月期調査)



いつも身近なおつきあい

あばしりんきん

<ホームページ> <https://www.shinkin.co.jp/abashiri/>

第190回 管内企業業況調査

2025年4月

網走信用金庫

地域振興支援部

□ 調 査 要 領

- 調査項目 「業況判断」など9項目
- 調査時期 2025年3月3日～3月7日
- 対象期間 2025年1月～3月期の実績、前年同月対比の実績、2025年4月～6月期の見通し
- 対象企業 オホーツク総合振興局管内で当金庫営業区域内の企業102社
- 調査方法 信金職員による直接聴き取り調査
- 分析方法 地区別及び業種別の景気動向指数の判断D I (ディフュージョン・インデックス)分析
 ※DI数値は、各質問項目別に「良い(増加・上昇)と回答した企業の全体に占める割合(%)」－
 「悪い(減少・下降)と回答した企業の全体に占める割合(%)」を計算したものです。
 なお、調査時期による一定の時系列波を補正する「季節調整」は実施しておりません。
- 回答企業数 102社 (回答率100.0%)

■回答企業内訳

地区別区分	網走地区	斜里地区	美幌地区	北見地区	合 計
	32社	20社	29社	21社	102社
業種別区分	製造業	建設業	卸売・小売業	サービス業	合 計
	22社	26社	36社	18社	102社

■企業規模別内訳 (従業員数)

10人未満	30人未満	50人未満	100人未満	150人未満	200人未満	200人以上	合 計
36社	46社	7社	11社	1社	0社	1社	102社

◇ 目 次 ◇

- 第190回 管内企業業況調査 調査要領 1P
- 景気概況トピックス 国内景況・道内景況 2P
- 地区別の業況判断のD I 推移 3P
- 業種別の業況判断のD I 推移、項目別調査結果 4P～5P
 - 1. 在庫状況 2. 販売価格 3. 仕入価格 4. 経営上の問題点
- 特別調査「外国人・海外情勢と中小企業」アンケート結果 6P～7P

信金中央金庫全国一斉アンケート
- あばしりしんきん掲示板～地域情報とお知らせコーナー～ 7P
 - 観光情報
 - 漁業情報
- 《のうだいレポート》 8P

景 気 概 況 ト ピ ッ ク ス

国内景況 D I 値は横ばい傾向

日銀短観 業況判断DI (全国)		2023年				2024年				2025年	
		3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月予想
大企業	製造業	1	5	9	12	11	13	13	14	12	12
	非製造業	20	23	27	30	34	33	34	33	35	28
中堅企業	製造業	△5	0	0	5	6	8	8	11	11	4
	非製造業	14	17	19	20	20	22	23	22	25	18
中小企業	製造業	△6	△5	△5	1	△1	△1	0	1	2	△1
	非製造業	8	11	12	14	13	12	14	16	16	9
全規模計		5	8	10	13	12	12	14	15	15	10

- 日本銀行が2025年4月1日に発表した2025年3月の全国企業短期経済観測調査（以下日銀短観、対象8,971社、回答率99.0%）によりますと、企業の景況感を示す業況判断指数（D I）は、全規模計で2024年12月の前回調査結果(プラス15)より変動は無くプラス15となりました。

- 日本銀行による2025年1月公表の「経済・物価情勢の展望」より

基本的見解：「わが国の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。」

見通し：「先行きのわが国経済を展望すると、海外経済が緩やかな成長を続けるもとで、緩やかな金融環境などを背景に、所得から支出への前向きの循環メカニズムが徐々に強まることから、潜在成長率を上回る成長を続けると考えられる。」

- 内閣府発表の2025年3月公表の月例経済報告での判断

国内基調判断：「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。」

先行き：「先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」

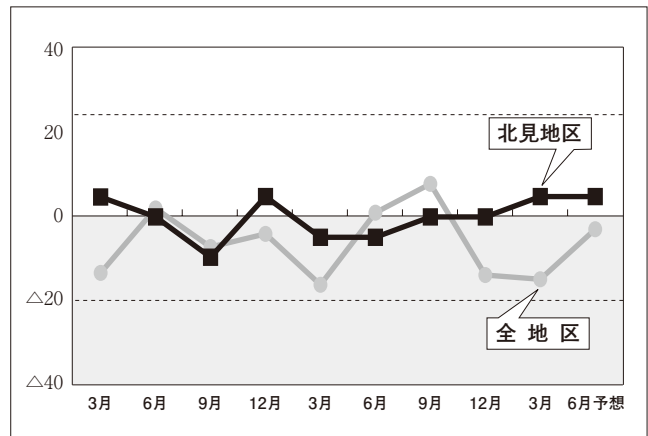
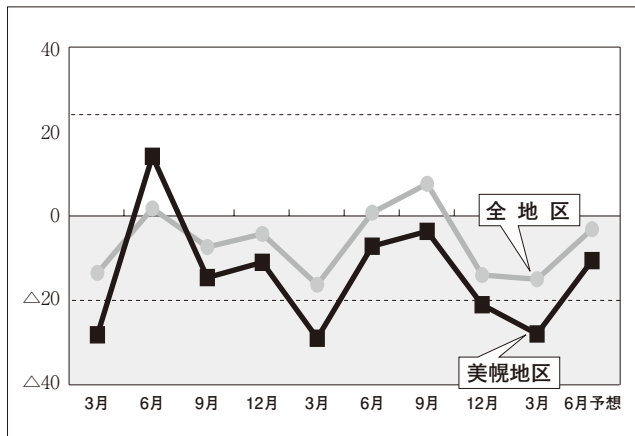
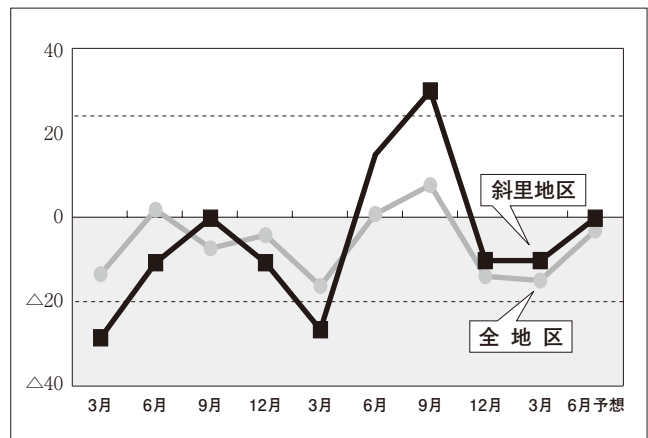
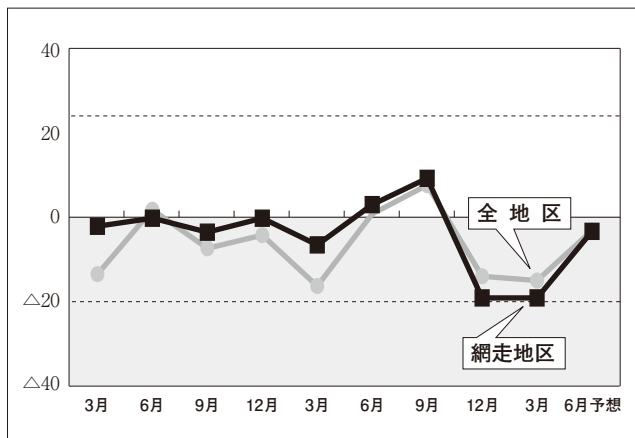
道内景況 D I 値はやや上昇

日銀短観 業況判断DI (道内)		2023年				2024年				2025年	
		3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月予想
製造業		△6	△9	△3	2	9	10	2	6	8	5
非製造業		11	13	13	15	15	19	23	24	24	14
全産業		7	8	10	12	13	17	18	19	20	12

- 日本銀行札幌支店が発表した2025年3月期の日銀短観道内集計（対象427社、回答率99.5%）によりますと、道内の業況判断指数（D I）は、2024年12月の前回調査結果（プラス19）より1ポイント増加のプラス20となりました。

業況判断D I の推移（地区別）

地区区分	2023年				2024年				2025年	
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月予想
網走地区	△1.9	0.0	△3.3	0.0	△6.3	3.2	9.4	△18.8	△18.8	△3.1
斜里地区	△28.2	△10.5	0.0	△10.5	△26.3	15.0	30.0	△10.0	△10.0	△0.0
美幌地区	△27.8	14.3	△14.3	△10.7	△28.6	△6.9	△3.4	△20.7	△27.6	△10.3
北見地区	4.7	0.0	△9.5	4.8	△4.8	△4.8	0.0	0.0	4.8	4.8
全地区集計	△13.2	2.0	△7.1	△4.0	△16.0	1.0	7.8	△13.7	△14.7	△2.9



☆オホーツク総合振興局管内企業を「網走地区」（網走市内）、「斜里地区」（斜里町・小清水町・清里町内）、「美幌地区」（美幌町・大空町・津別町内）、「北見地区」（常呂を含む北見市内）に区分して業況判断結果を分析しております。

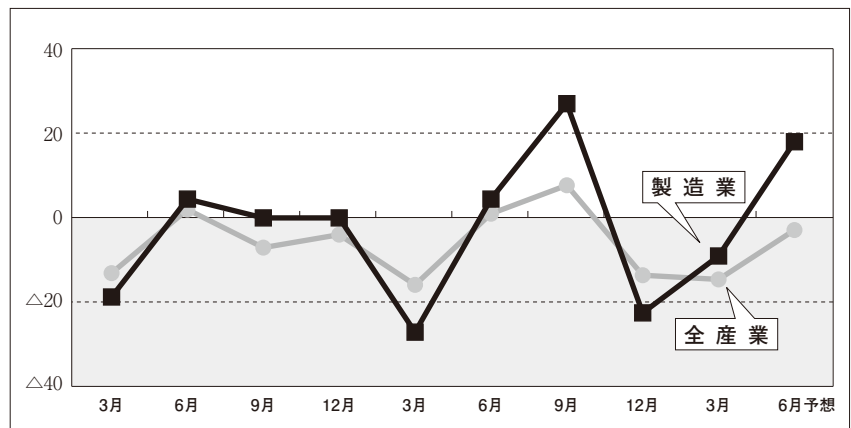
業況判断D I の推移（業種別）

業種区分	2023年				2024年				2025年	
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月予想
製造業	△18.9	4.5	0.0	0.0	△27.3	4.5	27.3	△22.7	△9.1	18.2
建設業	△11.6	8.0	△20.0	△12.0	△19.2	△8.0	△3.8	△11.5	△19.2	△11.5
卸売・小売業	△11.0	△2.9	0.0	△5.9	△17.6	0.0	△2.8	△13.9	△13.9	△22.2
サービス業	△13.9	0.0	△11.8	5.6	5.6	11.1	22.2	△5.6	△16.7	22.2
全業種集計	△13.2	2.0	△7.1	△4.0	△16.0	1.0	7.8	△13.7	△14.7	△2.9

製造業（対象22先）

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI 値
今期	18.2	54.5	27.3	△ 9.1
次期予測	31.8	54.5	13.6	18.2



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI 値
今期	4.8	90.5	4.8	0.0
次期予測	4.8	85.7	9.5	△ 4.8

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	22.7	77.3	0.0	22.7
次期予測	36.4	63.6	0.0	36.4

仕入価格

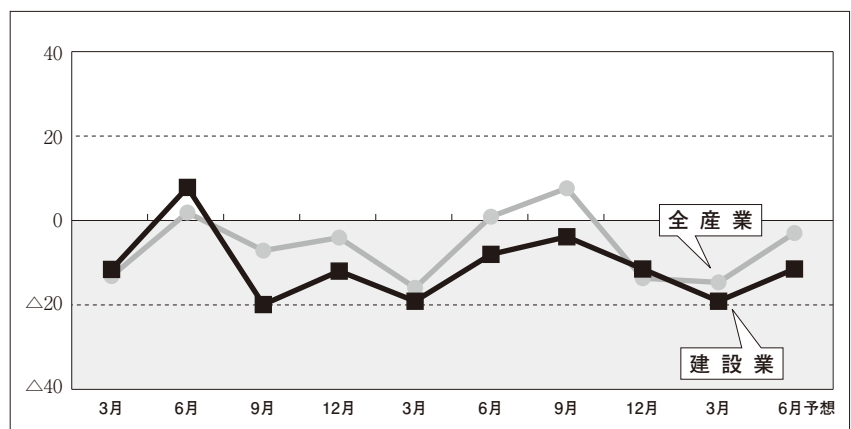
	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	50.0	50.0	0.0	50.0
次期予測	63.6	36.4	0.0	63.6

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

建設業（対象26先）

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI 値
今期	3.8	73.1	23.1	△ 19.2
次期予測	3.8	80.8	15.4	△ 11.5



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI 値
今期	0.0	96.2	3.8	△ 3.8
次期予測	0.0	96.2	3.8	△ 3.8

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	32.0	64.0	4.0	28.0
次期予測	36.0	60.0	4.0	32.0

仕入価格

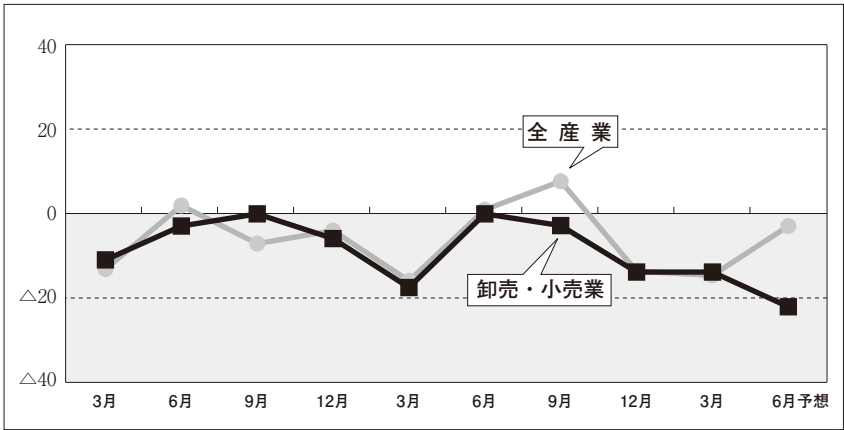
	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	53.8	46.2	0.0	53.8
次期予測	61.5	38.5	0.0	61.5

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

卸売・小売業（対象36先）

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI 値
今期	8.3	69.4	22.2	△ 13.9
次期予測	8.3	61.1	30.6	△ 22.2



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI 値
今期	11.1	86.1	2.8	8.3
次期予測	11.1	86.1	2.8	8.3

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	52.8	44.4	2.8	50.0
次期予測	47.2	52.8	0.0	47.2

仕入価格

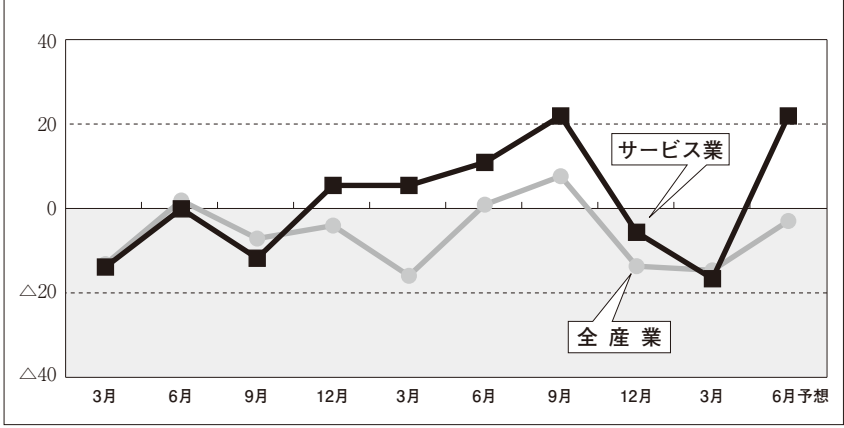
	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	66.7	33.3	0.0	66.7
次期予測	58.3	41.7	0.0	58.3

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

サービス業（対象18先）

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI 値
今期	11.1	61.1	27.8	△ 16.7
次期予測	27.8	66.7	5.6	22.2



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI 値
今期	5.6	88.9	5.6	0.0
次期予測	0.0	88.9	11.1	△ 11.1

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	5.6	88.9	5.6	0.0
次期予測	5.6	88.9	5.6	0.0

仕入価格

	上昇	横ばい	下降	DI 値
今期	61.1	38.9	0.0	61.1
次期予測	66.7	33.3	0.0	66.7

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

経営上の問題点

2025年3月期調査回答

(回答割合)

前回 (2024年12月)

前々回 (2024年9月)

- | | | | | |
|----|----------------|---------|--------------|--------------|
| 1位 | 仕入商品又は原材料の値上り | (51.0%) | ⇐ 1位 (55.9%) | ⇐ 1位 (50.0%) |
| 2位 | 売上又は受注の停滞・減少 | (39.2%) | ⇐ 3位 (37.3%) | ⇐ 3位 (37.3%) |
| 3位 | 従業員の確保難 (人手不足) | (36.3%) | ⇐ 2位 (41.2%) | ⇐ 2位 (46.1%) |

※複数回答による回答割合上位3項目

「仕入商品又は原材料の値上り」が1位、「売上又は受注の停滞・減少」が2位、「従業員の確保難 (人手不足)」が3位となりました。

本特別調査は、信金中央金庫の地域・中小企業研究所が四半期毎に実施している定例調査の特別調査項目について、当庫取引先企業に同一内容のアンケート調査を実施したものです（102社中102社から回答）。（2025年3月調査）

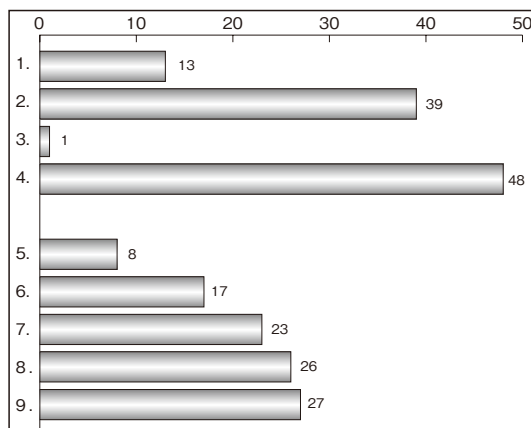
問1. 昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。あてはまるものを1から4の中から1つ選んでお答えください。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。5から9の中から1つ選んでお答えください。

外国人との接触機会

1. コロナ前を上回っている
2. コロナ前とほぼ同水準
3. コロナ前を下回っている
4. わからない

ビジネスチャンスを増やす意向

5. 大いにある
6. どちらかというところ
7. どちらかというところない
8. まったくない
9. わからない



外国の方との接触について、コロナ禍前と比較し、ほぼ同水準が約4割となっております。また、ビジネスチャンスを増やしたいとの意向確認では、現状維持が5割を占める一方、増やしたいとの回答が2割に上ります。

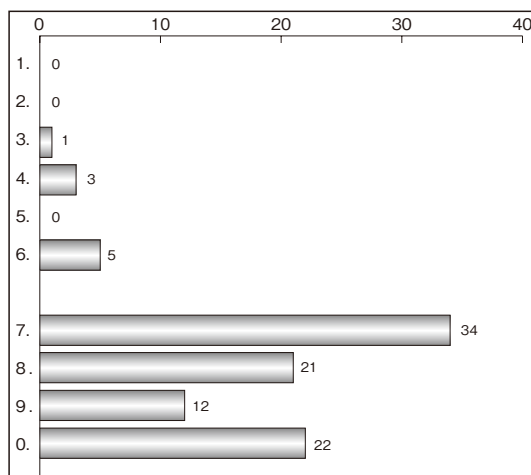
問2. 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を1から6の中から1つ選んでお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由を7から0の中から1つ選んでお答えください。

外国人労働者を雇用している

1. 50%以上
2. 40%～50%
3. 30%～40%
4. 20%～30%
5. 10%～20%
6. 10%未満

外国人労働者を雇用していない

7. 人手が充足しており必要ない
8. 受入負担(就労環境整備、育成コスト等)が重い
9. 雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い
0. コミュニケーションなどで心配がある



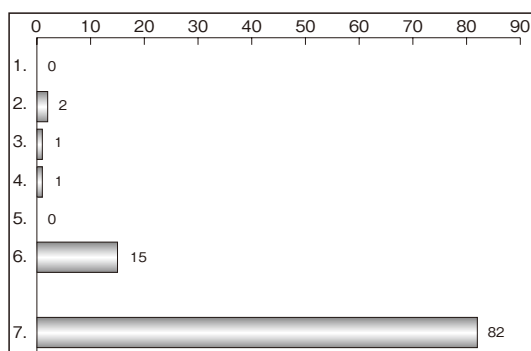
外国人労働者を雇用している事業者は、調査先の1割程度に止まり雇用していない理由として、「人手が充足しており必要ない」は3割強で、次に「コミュニケーションなどで心配がある」等が上げられています。

問3. 貴社では、売上全体に占める外国人（旅行者を含む）、もしくは外国企業向けの売上げ（輸出を含む）はどれくらいですか。あてはまるものを1から6の中から1つ選んでお答えください。売上がない場合は7を選択ください。

外国人向けの売上がある

1. 50%以上
2. 40%～50%
3. 30%～40%
4. 20%～30%
5. 10%～20%
6. 10%未満

7. 外国向けの売上げはない



売上の全体を占める外国人もしくは、外国企業向けの売上げについて、「外国向けの売り上げはない」との回答が調査先の8割を占めています。一方、外国人向けの売り上げがあるとの回答の内、売上全体に占める割合が「10%未満」が1割強となっております。

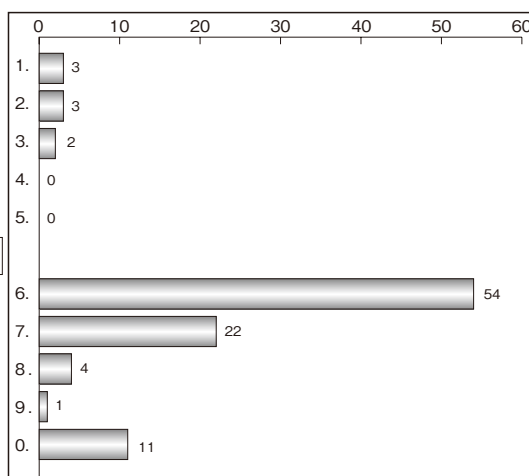
問4. 貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて1から5の中から1つ選んでお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について6から0の中から1つ選んでお答えください。

外国向けの取組みを行っている

1. 製品・商品・サービス面の開発強化
2. 営業力の強化
3. ネットや広告による情報発信
4. 海外拠点の設置・強化
5. その他 ()

外国向けの取組みを行っていない

6. 国内だけで十分な売上げがある
7. 何をすればいいのかわからない
8. 人材が不足している
9. 資金面で余裕がない
0. その他 ()



外国向けの売上げを増加させる取組みを行っている事業者は、調査先の1割に届かないものの、「製品・商品・サービス面の開発強化」や、「営業力の強化」等の取組みが上げられております。一方、取組みを行っていない理由として、「国内だけで十分な売上げがある」との回答が大半を占めております。

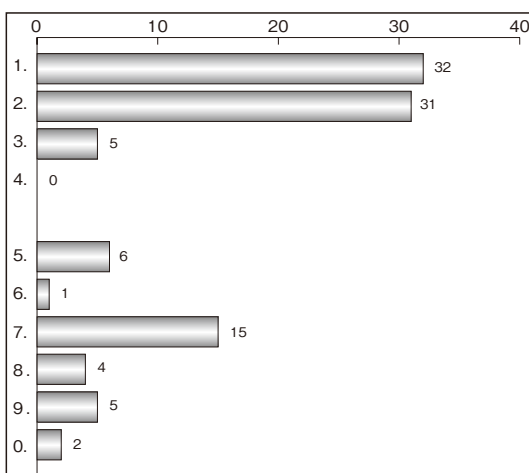
問5. 特別設問 貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合は引上げなかった理由について5から0の中から1つ選んでお答えください。

引上げ

1. 0%以上2%未満
2. 2%以上4%未満
3. 4%以上6%未満
4. 6%以上

引上げない

5. 賃上げに見合う価格転嫁ができていない
6. 同業や同地域内の他社が上げていない
7. 今後の業績見通しが不透明
8. 売上の低迷や伸び悩み
9. これまでに賃金を引上げ済み
0. 自社に従業員はいない(家族経営など)



人材定着などに向けて、2025年中に賃金の引上げを予定しているのは、調査先の約7割を占め「0%以上2%未満」、「2%以上4%未満」等の回答となっております。一方、賃金の引上げを予定しない理由として、「今後の業績見通しが不透明」が上げられ、次に「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」等の回答が上げられております。

あばしりんきん 掲示板～地域情報とお知らせコーナー～



観光情報：コロナ禍前を上回る入込数

網走市内観光施設の2025年2月の入込数は、春節により台湾・香港・中国からの入込が好調であった他、流水着岸が2月下旬にずれこんだ等のこともあり、多くの施設でコロナ禍前(2020年2月)と比較して、大きく上回る実績となりました。

漁業情報：底引き網漁の見通しについて

網走の海明けは近年早い傾向にあります。底引き網漁は休業期間が定められているため、3月下旬より再開され、スケソウ・ニシンを水揚げし浜の活気が期待されます。



のうだいレポート

漁師にとっての「厄介者」であるモクズガニを地方創生の「立役者」にかえる

自然資源経営学科の企業経営研究室では、海洋水産学科や食香粧化学科と連携しながらモクズガニのブランド化にむけて商品開発に取り組んでいます。

そもそもモクズガニは、漁業で使われる網を傷つけたり、漁獲しているニシンやカレイなどを食べ、傷つけるため、オホーツクの地元漁師からは漁業をジャマする“厄介者”として扱われ駆除・処分されています。もし、このモクズガニを単に駆除・処分するのではなく、地域の新たな食材として提供できる生産体制を構築するとともに、モクズガニをうまくブランディングし、地域内外で販売・消費される仕組みをつくることができれば、漁師にとっての“厄介者”であったモクズガニは、地方創生の“立役者”にかわります。ちなみに、「上海ガニ」の市場規模は1兆円と言われています。この厄介者が1兆円市場に参入するには?と考えるだけでワクワクしてきます。

そして、現在、本研究室で取り組んでいるのが「モクズガニラーメン」の開発です。2025年2月5日(水)には、東京農業大学 世田谷キャンパスで「モクズガニラーメン」の試食会を実施しました。試作ラーメンは参加者からも好評で、また様々な意見もいただきました。引き続き参加者からいただいたご意見を踏まえつつ、商品化にむけて邁進していきます。



写真:「モクズガニラーメン」のプロジェクト
概要を紹介する学生の様子



写真:「モクズガニラーメン」試食会の参加者の様子



写真:茹でたモクズガニ



本活動の詳細は、東京農業大学のWEBページや
自然資源経営学科のSNSをご覧ください。

地域課題戦略推進協議会構成団体

- ・東京農業大学
- ・網走市
- ・網走商工会議所
- ・オホーツク網走農業協同組合
- ・網走漁業協同組合
- ・西網走漁業協同組合
- ・一般社団法人網走市観光協会
- ・網走信用金庫

【お問い合わせ先】

事務局：地域課題戦略推進協議会
「未来を考える戦略センター」
北海道網走市八坂196
東京農業大学生物産学部2号館2F
TEL:0152-48-3882
FAX:0152-48-2940
E-mail: mirai-c2@nodai.ac.jp

店舗のごあんない

本店	〒093-0014	網走市南4条西1丁目8番地	☎(0152)43-3111
駅前支店	〒093-0046	網走市新町1丁目7番地10	☎(0152)44-5265
斜里支店	〒099-4112	斜里郡斜里町港町2番地48	☎(0152)23-3111
美幌支店 (稲美支店)	〒092-0050	網走郡美幌町字大通北3丁目12番地の1	☎(0152)73-2161
常呂支店	〒093-0210	北見市常呂町字常呂325番地16	☎(0152)54-2304
小清水支店	〒099-3642	斜里郡小清水町南町2丁目1番10号	☎(0152)62-2221
清里支店	〒099-4406	斜里郡清里町水元町16番地2	☎(0152)25-2311
女満別支店	〒099-2323	網走郡大空町女満別西3条4丁目2番6号	☎(0152)74-2171
東藻琴支店	〒099-3293	網走郡大空町東藻琴360番地の1大空町東藻琴総合支所内	☎(0152)66-2311
北見支店 (北進支店)	〒090-0044	北見市北4条西4丁目14番地	☎(0157)23-7366
津別支店	〒092-0231	網走郡津別町字大通39番地1	☎(0152)76-2101
釧路支店	〒085-0032	釧路市新栄町3番13号	☎(0154)24-0165
釧路北支店	〒085-0057	釧路市愛国西1丁目24番17号	☎(0154)38-3111
駒場支店	〒093-0035	網走市駒場南4丁目4番3号	☎(0152)45-3111
帯広支店	〒080-0015	帯広市西5条南14丁目4番地1	☎(0155)21-3111
潮見支店	〒093-0042	網走市潮見6丁目105番15	☎(0152)43-4800
音更支店	〒080-0301	河東郡音更町木野大通西10丁目1番地7	☎(0155)30-2100

※稲美支店は美幌支店内に、北進支店は北見支店内に移転しております。

昼休み導入店舗のご案内

当金庫では昼休みを導入している店舗がございます。お客さまにはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○駅前支店、駒場支店、斜里支店、美幌支店（稲美支店）、常呂支店、小清水支店、清里支店、女満別支店、東藻琴支店、津別支店、釧路北支店、音更支店

平日 午前の営業9:00～11:30、午後の営業12:30～15:00（昼休み11:30～12:30）

○潮見支店、釧路支店、帯広支店

平日 午前の営業9:00～12:30、午後の営業13:30～15:00（昼休み12:30～13:30）

※ATMコーナーは昼休み時間中もご利用いただけます。



<ホームページ> <https://www.shinkin.co.jp/abashiri/>



この印刷物は再生紙を使用しています。